

ニューガラスフォーラム

昭和61年度事業の実施状況

昭和61年度も間もなく終わろうとしています。この号では61年度計画の実施状況について、その概略をお知らせしたいと考えています。

(下記記事中、*印は「61年度事業計画」の項目です。)

(1) 調査研究活動*

①研究開発課題の調査研究*

②需要動向調査及び市場予測*

60年度中に設置されていた企画推進会議第1～5委員会により、研究開発課題の調査、需要動向調査及び市場予測調査が行われました。

結果は「ニューガラス調査報告書(第1報)」に取りまとめました((2)①参照)。

③海外動向調査*

昭和61年10月26日から11月8日まで2週間、ニューガラス米国調査団を派遣しています(団長:南大阪府立大学教授、参加者数:団長を含め13名)。

なお、2月5日の第8回ニューガラスフォーラムセミナーにおいて、南団長を中心に、参加者数名によって、会員に対する報告が行われました。

また、報告書は、何らかの形で(単独の報告書か、機関誌への掲載によって)会員にお届けしたいと考えています。

④その他*

当初の事業計画にはなかってものですが、勸データベース振興センターからの助成を受けて、「ニューガラスデータベース構築調査」が実施されました。

既に発表されているデータブック、文献、特許などを情報源として、ガラスの組成と物性の関係をデータベース化する事の可能性を調査するものです(一部のプログラム化、検索実験を含む)。

この結果も何かの機会に会員にお知らせできると考えています。

(2) 提言活動*

①ニューガラスに関する調査報告書の作成*

(1)①および②の調査結果を「ニューガラス調査報告書(第1報)」として刊行し、既に会員に配布しています。

お配りしたものは「概要」(昭和61年9月末配布)と「詳細報告書」(昭和62年1月配布)の2種類ですが、その他に、内容を更に簡単にした10ページ程の「ダイジェスト版」を作り、これは外部へのPR用に使っています。

②関係官庁・機関との連携*

産業ビジョン委員会（委員長：安井東京大学助教授）を設け、ニューガラス産業ビジョンの検討を行いました。この結果は、昭和61年10月に設置された通商産業省ニューガラス産業基本問題懇談会に生かされています。

なお、この懇談会の検討結果は、昭和62年3月末に生活産業局長に報告される見込みとなっています。

（3）啓蒙普及活動*

①セミナー等の開催*

昭和61年5、7、10月、昭和62年2月、それぞれニューガラスフォーラムセミナーを開催しました。参加者合計は約600名に達し、会員からは大変ご好評をいただいている催しとなっています。

研究会活動も、予定より若干遅れましたが、61年度末に至ってようやく実施段階に入りました（アンケート結果別掲）。

②機関誌の発行*

若干の遅れを伴いましたが、何とか年度内に予定の4号まで発行することができました。

③パンフレット、新聞、雑誌等による広報*

昭和61年8月にニューガラスフォーラム紹介用のパンフレットを作成しました。

新聞、雑誌等からの取材も多く、事務局からも可能な限り情報を提供しました（主な記事を別掲）。

④各種催し物への参加*

新素材関連の下記催し物に協賛しています。

*86新材料・新素材展（主催：日刊工業新聞社）

（開催地：大阪、東京、広島）

（4）地位の確保*

①財務及び組織の整備*

現在の会員数は90社で、目標100社には残念ながら達しませんでした。

事務局としては、昭和61年5月末、世話人会社からの出向社員2名ならびに女子パート1名（61.11.21正職員に採用）により専任事務局を開設しました。

また、同年9月1日より、日本ガラス工業センター3階に、専用の事務所を設けました。

②諸規定の検討整備*

内規として、就業規則、経理規定、出張旅費規定を作成しています。

③法人化の検討*

事務局・連絡会議を中心に、法人化のための体制の整備、スケジュール等の検討を行いました。

④その他*

特になし。

研究会に関するアンケート結果

昭和61年10月に、研究会に関する会員アンケートを実施しました。集計結果は下記の通りです。

アンケート配布数 88 (会社会員)

回収数 57 (回収率65%)

下記アンケート中、()内及び枠内の数字は回答数です。

アンケート 1

運営については、企画推進会議委員が座長をつとめ、一つの研究会が年数回の会合を開くことを考えています。

(質問1) 出席しやすい回数ほどの位ですか

(10) 年2回程度

(34) 年3～4回程度

(12) 特に希望はない

(質問2) 開催時刻についてお尋ねします

(1) 午前がよい

(51) 午後がよい

(5) 夕方からがよい

(質問3) 場所はどこがよいですか

(42) 東京

(15) 大阪

(5) その他

アンケート 2

研究会参加者には、茶葉代として1回1000円程度を負担して頂きたいと考えています。また、特別に講師を呼んでお話を伺うこともあると思いますが、その場合は、講師謝礼を参加者にご負担いただくことになると思います。

(質問1) 茶葉代について

(43) 1000円程度負担することは差し支えない

(14) 茶葉は不要、無料がよい

(質問2) 講師謝礼の負担について、負担していただける額ほどの程度ですか

(8) 1万円程度まで

(27) 5000円程度まで

(22) 3000円程度まで

| テーマ | 易しく解説する講習会的なもの | ユーザー/メーカーの話し合い | 技術的な討論会 |
|-------------------|----------------|----------------|---------|
| 光ビックアップ | 20 | 4 | 4 |
| 光メモリ | 27 | 12 | 11 |
| 透明電導膜 | 23 | 13 | 11 |
| 赤外光ファイバ | 15 | 6 | 13 |
| レーザガラス | 24 | 7 | 10 |
| 平板ディスプレイ基板 | 23 | 12 | 12 |
| ガラスディスク基板 | 23 | 10 | 6 |
| カルコゲンガラス | 22 | 6 | 14 |
| 固体電解質ガラス | 22 | 4 | 6 |
| ICフォトマスク | 16 | 9 | 7 |
| 人工歯・人工骨 | 15 | 4 | 6 |
| 多孔質バイオリアクタ | 24 | 7 | 9 |
| ニューガラスの強度 | 28 | 3 | 10 |
| その他(希望のテーマ記入) | | | |
| 光制御ガラス(含アモルファス薄膜) | | 1 | |
| ゾルゲル低温合成機能性ガラス | 1 | | |
| 発想を転換したNGの探究 | | 1 | 1 |
| プロセスに関するもの | | | |
| 高強度ガラス繊維 | 1 | | |
| 赤外透過ガラス | 1 | | 1 |
| グラスセラミックス・結晶化ガラス | 2 | | 1 |
| 低融点ガラス | 1 | | |
| ガラスの表面処理技術 | 1 | | |
| ハイブリッドIS用ガラス | | 1 | |

ニューガラス／ニューガラスフォーラム 関連の主要記事

アンケート 3 (前頁)

研究会のテーマならびに方向について、次の表に○印をつけて下さい(ご希望のものに幾つでも)。

アンケート 4

研究会に参加した場合、どんな情報入手することに期待しますか(複数チェック可)。

(質問1) ガラスメーカーにお尋ねします

- (25) テーマの商品に対する現在までの技術的な問題点
- (17) テーマの商品の現在の品質レベル
- (23) テーマの商品の将来の品質動向
- (4) テーマの商品の現在のメーカー
- (2) その他

(質問2) ガラスのユーザーにお尋ねします

- (5) テーマの商品の現在の問題点の技術的対策
- (6) テーマの商品の現在の問題点を解決してくれることが出来るガラスメーカーを知ること
- (6) テーマの商品の将来の要望にマッチしうる技術の内容
- (0) その他

(質問3) 現在ガラスメーカーでもユーザーでもない会員にお尋ねします

- (18) テーマ商品の将来性
- (18) テーマ商品の技術動向
- (4) テーマ商品のメーカー、ユーザー
- (0) その他

(以上)

特別企画：ニューガラス

Trigger、5巻8号、p.97～103(昭和61年7月)

ニューガラスフォーラム設立1年(上、下)

株式市場新聞、昭和61年7月5日号

” ” 7月7日号

ニューガラスのビジョン策定「フォーラム」が委員会設置

日本工業新聞、昭和61年7月17日号

座談会：ニューガラスの現状と今後の展望を探る

日本工業新聞、昭和61年7月30日号

通産の次世代開発制度 ニューガラステーマに超低損失繊維など開発

日刊工業新聞、昭和61年8月11日号

通産省がニューガラスで基本問題懇を設置

日本工業新聞、昭和61年9月26日号

ニューガラスフォーラム 来月、米に調査団 研究開発の方向を探る

日刊工業新聞、昭和61年9月26日号

ニューガラスフォーラムの活動状況

セラミックス、21巻11号、p.1030～1034(昭和61年11月)

座談会：期待高まるニューガラス(併載記事：ニューガラス開発最前線)

通産新報、昭和62年1月5日号

市場広がるかニューガラス ハイテク用に期待 各社、生き残りの切り札に

日本経済新聞、昭和62年1月8日号

<特集>10大先端ビジネスの新主役：ニューガラス 週刊ダイヤモンド、昭和62年1月19日号

p.35～36、38

<特集>世界をリードする日本の電子材料：電子材料としてのニューガラス

電波新聞、昭和62年1月14日号